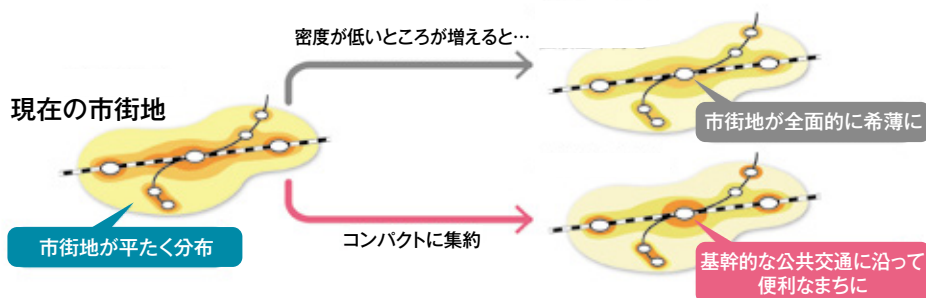


# “まちの顔”の未来を描く 「中心市街地グランドデザイン」始動

撮影／北村 徹

## 今治の活力を未来へつなぐ 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり

人口減少や少子高齢化といった課題に向き合いながら、これからも暮らしやすく、まちの活力を維持・向上するために、「コンパクト・プラス・ネットワーク」という考え方にもとづいたまちづくりを進めています。これは、病院や買い物、学校、公共交通などが身近にそろった便利で安心なまちを、コンパクトに形づくっていく取り組みです。特に市の中心部では、使われていない土地を有効に活用したり、古くなった公共施設を集約・再編したりすることで、災害に強く、誰もが安心して暮らせるまちを目指しています。



## 「これからのまちのかたち」を、皆で描き、ともに進める

令和4年度に「中心市街地まちづくり構想」をつくり、これをもとに市民の皆さんや関係者と話し合いを重ねてきました。その成果として、公共施設や道路、公園などの整備と、地域の皆さんによる活動や民間の開発が一体となって進んでいくよう、この7月に「中心市街地グランドデザイン」をまとめました。このグランドデザインは、まちの未来を、行政だけでなく、地域や企業、団体、そして市民の皆さんと共に描き、手を取り合って、まちづくりを進めていくための“まちの将来像”です。

### 関係者ヒアリング 他 令和4年度

■ 地域で活動されている方々とまちの将来像に関する議論をスタート



▲関係者ヒアリング  
(令和4年7月26日)



▲中学校ワークショップ  
(令和4年12月20日)

### 協議会(デザイン会議・部会) 令和5～6年度

■ 計画策定に向けた体制構築



▲第4回公共空間再編部会  
(令和6年7月19日)



▲第6回デザイン会議  
(令和6年11月29日)

### まちづくり市民会議(エリア別・中心市街地全体) 令和6年度

■ エリアごとの議論を深化

■ 計画内容を広く市民と共有、意見交換



▲水ホホ座談会  
(令和6年7月18日)



▲中心市街地まちづくり市民会議  
(令和6年11月30日)

# 今治市中心市街地グランドデザイン

## 中心市街地まちづくりのコンセプト つながる みなと・まち・いまばり

Walkable Port City IMABARI

本市の中心市街地が目指す将来のまちの姿について、地域文化、現状と課題、上位計画での議論、都市再生の潮流を踏まえて、コンセプトを設定しました。

素晴らしい地域資源、地域文化に恵まれている今治の中心市街地では、さまざまな住民、企業、行政の協働によって個々の価値を磨くとともに、それらがひとつつながりの魅力として、地域住民に愛され、国内、海外に発信されていくことが大切です。

コンセプトには、海、港からはじまった今治で、新しいひとつつながりの魅力をつくっていくという思いが示されています。

実現するための具体的な

## 6つの基本的な考え方

01

今治らしく、多世代が暮らしやすい  
**中心市街地の再生**

02

公共施設の再編・既存ストックの活用による  
**都市の魅力の創出**

03

交通機能の再編・新モビリティの導入による  
**回遊性の向上**

04

官民連携・エリアマネジメントの推進による  
**持続可能な体制づくり**

05

地域文化を活かした  
**観光・交流の場の創出**

06

安心・安全な環境づくりと  
**自然・災害との共生**

蒼社川周辺

計画中

かつての城下町の外堀で、中心市街地の縁を流れる蒼社川は、貴重な自然環境を活かして市民がアクティビティを楽しんだり、ふらっと立ち寄り憩える公共空間として“まちの縁側”のような場所となることを目指す。

今治城内堀沿い／  
金星川（外堀跡）沿い

提案

海とつながった城下町の足跡を  
辿る散歩道

ミズベ・ウォーク

今治城周辺

海水を引き込んだ堀は、さまざまな生き物の貴重な生息環境となっている。  
堀沿いの散策路を充実させ、港-城の回遊性を高める。

今治内港沿い

提案

港から城までをつなぐ  
海沿いの散歩道

ミズベ・ウォーク

MICE機能の整備

計画中

海事関係をはじめ、さまざまな分野での展示会やイベント等を誘致可能な会場を中心市街地内で検討中。

はーばりー・今治港周辺

「交通」の港から「交流」の港へ。月に2回行われるせとうちみなとマルシェでは、多くの人が集まり、にぎわいが生まれている。

新町商店街

提案

新たなプレイヤーの  
チャレンジの場として活用

ラボ・ストリート

## 複合庁舎

計画中

市庁舎移転とともにまちに開かれた施設・広場を検討中。

## ネウボラ施設

計画中

子育て世代の相談所として、また屋内外で子どもが遊ぶことのできる場所としてまちに開かれた施設整備を検討中。

今治地域  
地場産業  
振興センター

今治国際ホテル

## 芝っち広場

提案

日常からイベントまで  
大勢の人が集う祝祭広場

ドンドビ・フェスプラザ

## 広小路(今治停車場線)

提案

緑陰とにぎわいあるみち広場

グリーン・アベニュー

## 駅前広場

提案

しまなみ海道・今治の玄関口に  
複合機能を備えた交通拠点

しまなみモビリティ・ハブ

サイクリングターミナル

## 広小路(今治港線)

提案

緑豊かな環境軸として  
現市庁舎-港をつなぐシンボルストリート

グリーン・アベニュー

## 寺町周辺

寺社は音楽等のイベント会場としても活用されており、今治にしかない文化創出の場としても期待される。老朽化した木造家屋や空き家の状況を把握しながら、歴史的な街並みを活かした拠点づくりが求められる。

## 美保町周辺

古くからの漁師町として、海沿いに多くの船が集まる風景は海外からの観光客にも注目されている。歴史ある石積みの防潮堤が残るなど、既存資源を活かしたまちづくりが求められる。

## 今治市役所

庁舎機能の移転を検討しており、移転後は文化的施設として丹下健三の設計した建築を活かしたリノベーションを検討している。

## 市役所前広場

提案

丹下建築と一体で活用を図るまちに開かれた市民広場

## タンゲ・アートプラザ

次のページからは  
丹下健三の建築を紹介します▶

## 今治商店街

提案

子どもの遊び場となる  
屋根付き広場

プレイ・ストリート

今治市中心市街地  
グランドデザインについて  
詳しくはこちら▶



※施策案とイメージは、中心市街地地区の目指すべき姿を表したものであり、取り組みの方向性を示すものです。今後、関係者との協議・調整により変更となる可能性があります。

## 将来ビジョン(案)